



佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート



教職大学院1期生が修了されました！



3月23日、佐賀大学大学院学校教育学研究科（教職大学院）の1期生（ストレートマスター（以下ストマス）11名、現職教員10名、合わせて21名の先生方が、2年間の教職大学院での学びを修了されました。

佐賀県の教育のために、ご活躍されることを願っています。

一年間で学んだこと！一年間の学びを通して改めて気づいたこと！（2期生）

- 『色々な経験を積むことが改めて大切だと感じた。そして、学んだことを子どもたちに還元したい。』
- 『現場の教員として一步を踏み出す前の時期に、学校教育について多角的に学ぶことができました。』
- 『一年間大学の講義や実習に行くことで、授業を行うために必要な知識や手立てを学んだ。』
- 『現職の先生やストマス、いろいろな学校の先生や生徒と関わり、人との関わりを学んだ。』
- 『この一年間現職の方々や同じ夢を志す仲間と勉強してきて、いかに自分が未熟ものであるか知りました。』
- 『「笑う」ことの大切さを学ぶことができた。楽しい仲間と「笑う」ことで、これからも頑張りたい。』
- 『「教える」ことの難しさを学ぶことができた。自らの知識を豊かにすることから始めたい。』
- 『「授業実践力」の大切さを学ぶことができ、授業や実習を通して、多くの引き出しをもつことができた。』
- 『子どもや保護者を含む他者を理解する方法を学ぶことができ、他者に対する考え方が変わりました。』
- 『日々精進していく大切さに改めて気づきました。来年度も頑張っていきます。』
- 『異校種の方々との協議を行う中で、子ども達への支援の視野を広げることができました。』
- 『何より、仲間と協働する楽しさ。そして「知る」を「わかる」につなげる大切さを学ぶことができた。』
- 『素敵な仲間と出会い、有意義な時間の中で自分を磨く機会を頂いたことに感謝・感激です。』
- 『「精力善用・自他共栄」を肌身で感じた日々でした。みんなと共に学べたことに感謝♪』
- 『いろいろな人と交流することって大事。ものの見方・感じ方・考え方が豊かになりました。』
- 『感覚や勘だけでなく、若者や異校種の先生との交流、文献や情報を活用し、視野を広く！』
- 『1人の力ではできることは限られているが、皆とならば可能性が広がることを学ぶことができた。』
- 『様々な研究論文や書籍を読むことで理論を学び、討論・プレゼン等を通して異校種の垣根を越えた仲間との学びが、自らの研究に幅と厚みをもたせてくれました。』
- 『「出逢いはつながりのはじまり」大学や実習先の先生方、そして最高のM1。多くの出逢いに感謝しています！』
- 『一人の教員として学校を見る視点が増え、何より生徒が中心の学びの大切さを学ぶことができました。』